

ぽけっと

発行 2016年 12月 26日
 編集 特定非営利活動法人
 ママサポートえぷろん事務局
 発行責任者 帯谷 昭子

備えあれば憂いなし

理事長 帯谷 昭子

今夏、当法人を襲った台風7号は、グループホームうらら花に甚大な床上浸水の被害を及ぼしました。(被害にあった旭町2丁目の施設は、現在、テラスハウスぽのぼのとして再利用できないか町と協議中です。)

このたびの災害では、多くの方々から様々な支援を頂きましたが、誰もがここまで大きな被害を予想しませんでした。私自身もあの光景をまさか映像ではなく直に見ることになろうとは思いませんでした。「天災はどこでも、誰にでも、起こりうる」と実感しています。被災から4ヶ月、出来る限りの防災対策を講ずるべくようやく動きだしました。

地震対策として、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ろうと見積書を依頼したり、家具転倒防止の器具を注文したり、停電に備えた対策を検討したり……。書面だけの防災計画ではなく、出来ることを少しずつでもやっていこうと考えています。「備えあれば憂いなし」より安全な施設作りが来年の目標です。


非常時の持ち出し品・備蓄品 チェックリスト

災害後の救助や 救援物資の到着までに、最低限必要なものは準備しておきましょう。

ポイント

- 非常持ち出し品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう。
- 自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
- 定期的に中身をチェックしましょう。

<p>貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現金(小銭を含む)※公衆電話用に10円玉、100円玉 <input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵 <input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど <input type="checkbox"/> 銀行の口座番号・生命保険契約番号など <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 身分証明書(運転免許証、パスポートなど) <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 母子健康手帳 <p>情報収集用品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器を含む) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池を含む) <input type="checkbox"/> 家族の写真(はくれた時の確認用) <input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先 <input type="checkbox"/> 広域避難地図(ポケット地図でも可) <input type="checkbox"/> 筆記用具 <p>食料など</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水 <p>便利品など</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 防災ずきんかヘルメット <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池を含む) <input type="checkbox"/> 笛やブザー(音を出して居場所を知らせるもの) <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ 	<p>清潔・健康のためのもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> アルミ製保温シート <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 軍手か皮手袋 <input type="checkbox"/> マッチライター <input type="checkbox"/> 給水袋 <input type="checkbox"/> 雨具(レインコート、長靴など) <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <p>救急セット</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> トイレトペーパー <input type="checkbox"/> 着替え(下着を含む) <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 紙おむつ(幼児用・高齢者用など) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶(赤ちゃんに必要なもの) <input type="checkbox"/> その他自分の生活に欠かせないもの <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。</p>
---	--



認知症介護実践者リーダー研修を終えて

グループホームうらら花 吉田 圭介

台風7号による水害から早いもので3か月以上がたちました。
日々が過ぎるのは本当に早く、そしてあっという間に今年も終わろうとしています。
今年は特に1年過ぎるのが早いように感じます……。

さて、今回私は温泉で有名な洞爺湖町内で11月23日～12月1日までの8日間の日程で開催された、認知症介護実践者リーダー研修を受講させていただきました。

去年の3月に管理者研修がありその時と同じ場所での研修だったわけですが、今回は台風の影響により前回の足であったJRが使えないため、車で現地を目指しました。

そして高速に乗ること合計5時間半で洞爺湖町につきましたが、温泉……洞爺湖……と聞いておそらく温泉街にあるとあるホテルで行われると思われる方もいらっしゃるかと思いますが、開催地は温泉地の反対側の対岸で人里から離れたところにある研修センター……そこに8日間缶詰になり、みっちり知識を深めるのです。

研修内容は、認知症の基礎知識の理解の再確認と専門的理解から始まり、認知症介護実践リーダーの役割、認知症ケアの指導方法と倫理指導についてなどおよそ13の項目別の講義と個人演習やグループ演習を取り入れながら展開されました。

今回の研修には道央や道南地域を中心に12人の参加者が集まり、グループホームでの勤務者が自分含め2名いたほかは、特養や老健、デイサービスセンターにて活躍されている方達ばかりで日々の研修内であったり、研修後などでもそれぞれの職場状況や課題などについて情報交換を多くやりとりする事が出来ました。

初日……いきなり問題が起きました。

最初のオリエンテーションにて、今回の研修は次年度以降に予定されている新カリキュラムにて講義を行ない、自施設実習および他施設実習の内容も大幅に変わります。

講義については新カリキュラムとなり、講師陣も今まではある程度自分で作っていた資料が今回からはあらかじめ用意された資料を基にした講義展開だったこともあり、「新カリキュラムを把握しきれていないところもあるので……」と、なんとも耳を疑うような発言。そして、「わかりづらいところや改善したほうが良いと思うところはどんどん教えてください。今後の反省点としたいので……」と。周りの参加者と顔を合わせながら、「自分たちは実験台か?? わからないところすらまだわからないだろ??」とかなりの不安を抱えながら講義がスタートしました。

予感的中……講師が一言……「この資料わかんないし、面白くない……」

その一言でわれわれは失笑。普通ならここでモチベーションが下がるところですが、講師の「いつもの感じでやってもいい?」の一言で状況が変化し、普段使っている資料や体験談などを交えながらの講義スタイルに変化し、徐々に自分たちも講義に入りやすく楽しめるようになりました。

1コマの講義には座学以外にも、個人演習やグループ演習も取り入れられていたのでそのことも徐々に楽しくなっていった理由なのかもしれません。

そして、研修後は男性陣については大量のカメムシと人間が共存するログハウスに帰っていき、日々の研修の振り返りや予習、職場間の情報交換など毎日行っていたほか、100mほど離れたところにある24時間入り放題の温泉に朝晩2回一緒にはいっていきうちに日々中が深まり、そして間にあった1日の休日は行動を共にし、さらに関係が深まったように思います。

今回の研修は8日間ただ講義を聞いてくるだけではなく、現在の自施設における課題を考えそこから達成目標を設定したうえで自施設実習を18日間、他施設での外部研修を2日間行わなければなりません。

私はママサポートえぷろんそしてグループホームうらら花で働かせていただき3年が経ちました。

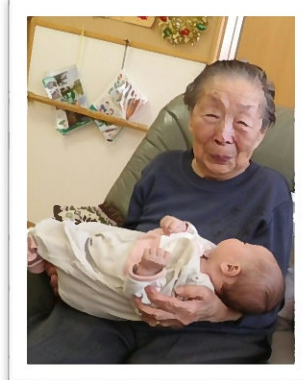
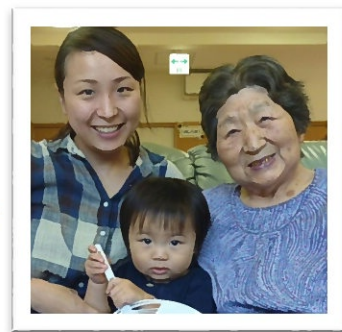
日々仕事をしていく中で、スタッフの皆さんの力はそれぞれ素晴らしく頼もしいところばかりですが、今年は災害もあり慢性的な人手不足の状況が続く中でさらにきずなを深めること、さらには個々のレベルを上げることで利用者の皆様の生活の質が上がって、「ここにきてよかった」「暮らしてよかった」と感じられるようなサービスを提供していけるように、「利用者中心の、利用者の立場に立った考え、ケアを提供できる支援者・介護者となる」という目標を掲げ、長期的なビジョンで取り組みを行っていきたいと思います。

また、「利用者側に立った考え、ケアを提供できる・・・」と言う視点からは、スタッフそれぞれが各場面において「なぜそうするのか?」「なぜそう思うのか?」「そのケアは利用者にとってどうなのか?」それで相手はどう感じるのか?」など、利用者の立場になった考えと、介護者としてのビジョンや理念、理由をしっかりと考え、相手に伝えることができるような介護実践者の養成・育成・指導という点においてもしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。

今回の研修期間やこれからも外部研修や報告会等があり、スタッフの皆様には勤務調整等でご協力をいただき本当にご迷惑をおかけしていますが、利用者の皆さんのさらなる生活の質の向上とよりよいサービスの提供のため、力を貸していただければありがたく思います。

これからも一致団結して利用者のみなさんのために日々精進し、楽しい生活を提供できるようにみなさん頑張ってください！

◆うらら花の様子◆



いろは坂

あーあ(2)

春にこの欄で、気に入らない写真が貼られた運転免許証の話を書いた。

目が腫れていて、最悪の顔だ。受け取った後も、正視できずに車に積んだままにしておいた。5年間取り出す予定はなかった。

その車が、8月の台風で水没した。泥まみれになった車は、運ばれていって、そのまま廃車になった。

浸水した家の後片づけをしているとき、ふと、助手席の下に置いてあった免許証のことを思い出した。

急いで車屋さんに連絡すると、どつぷりと濡れて重くなった袋を届けられた。

「あーあ」

一瞬がっかりした私だが、すぐに別の気持ちがあわてきた。

「こんなに濡れたんだから、もうダメだ。ということは、これで、あのとんでもない顔の免許証とはおさら

広井 数子

ばでできるということだ。今度は、写真館で少しはましな顔の写真を撮ろう。これは、不幸中の幸いだ」

ふやけて変色したケースを、期待をこめて開けた。

驚いたことに、取り出した免許証は、無事だった。完全防水になっているらしく、水洗いしても、タオルで拭いても、ハリツと光っている。期待は、みごと裏切られた。

思いがけずに、目が腫れた写真を直視するはめになった私の肩は、がっくりと落ちた。

免許証を作る会社に言いたい。「防水加工は、しなくていいですよ」



年末年始休業のお知らせ

下記の通り休みとなります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い申し上げます。

- 生活サポートてのひら
- デイホームひなたぼっこ
- MELLOW倶楽部あ・笑～る

休業日 平成28年12月30日(金)

)

平成29年 1月 5日(木)

休業中の連絡先 090-8275-3138 (法人事務局)

NPO 法人

ママサポートえぶろん

会 員 数

- ・個人会員 34人
- ・利用会員 32人
- ・賛助会員 58人

平成28年12月22日現在

特定非営利活動法人

(NPO)ママサポートえぶろんは民間非営利活動団体です。

会員の皆様の会費と寄付により運営しております。

皆様の支援をよろしくお願いいたします。